

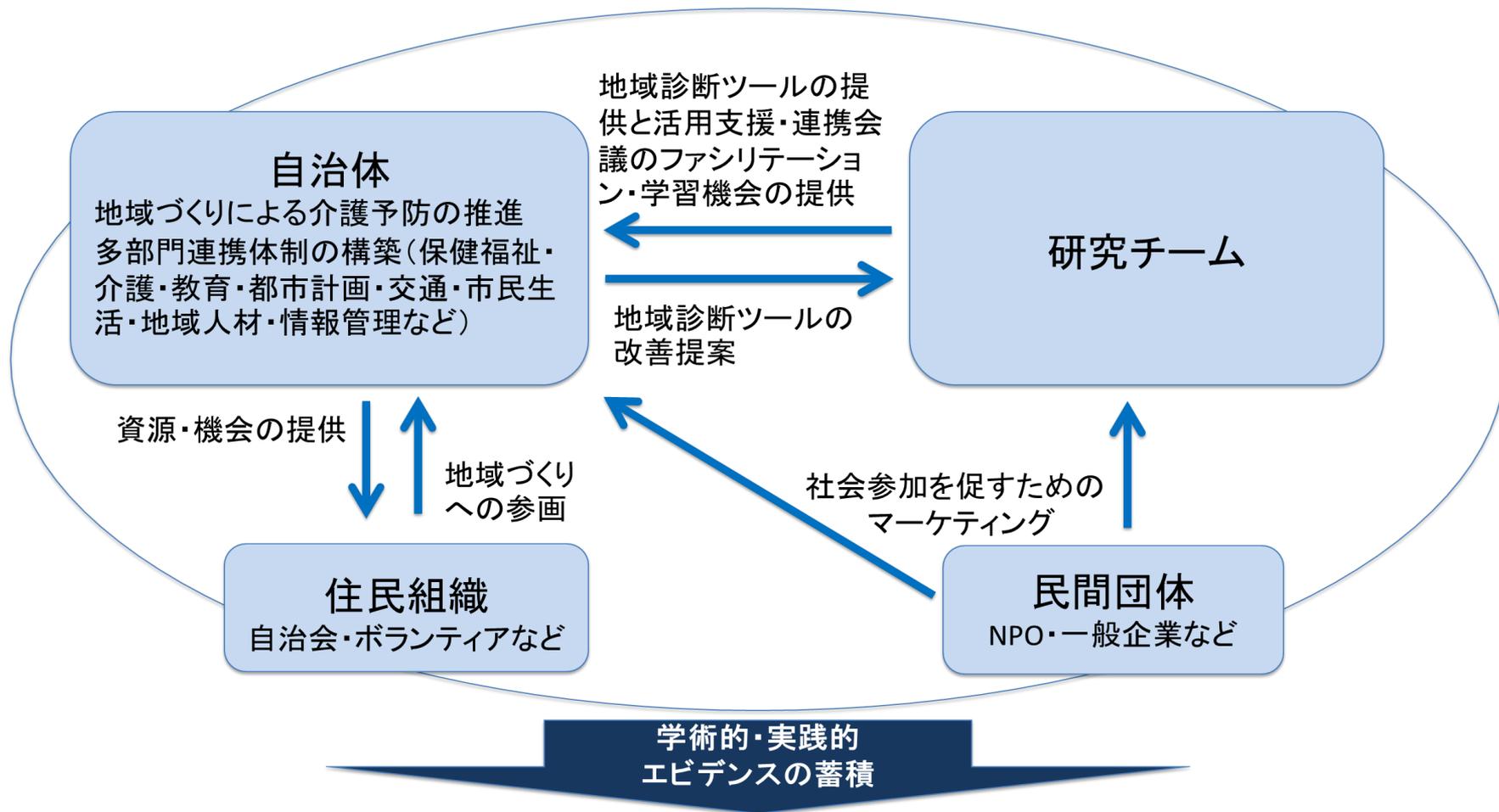
目的

大規模縦断研究：JAGESのデータ、厚労省「見える化」事業やJAGES HEARTによる地域診断データを活用して、

データに基づく地域づくり型の介護予防（高齢者の健康増進と健康格差対策）を進めるための実践的エビデンスを提供すること

- **地域診断から介護予防施策の計画立案・実施・評価までのプロセスをパッケージ化**
- **地域の多様性を踏まえた、ユニークな発想の介入手法を提案**
- **（疑似的な）介入研究により、多部署・官民連携による介護予防施策の効果を科学的に評価**

研究の概念図



多様な地域特性に合った、持続可能で公正な介護予防のための地域づくり手法の開発